
平成30年度中予地区及び県老施協共催研修会 「介護を科学する：『和光方式』による自立支援とデータヘルス改革」開催要項

- 1 目 的
介護保険制度が創設されて17年。この間、65歳以上人口は約1.6倍になり、介護サービス利用者は約3.3倍に増え、同制度は高齢者ケアに不可欠な制度となっています。
こうした状況の中、埼玉県和光市では、将来の超高齢社会を展望し、東内前保健福祉部長を中心に「介護予防」、「重度化予防」による自立支援を強力に推進しながら地域包括ケアシステムが構築され、地域包括ケアシステムを通じて、施設介護から在宅介護中心へという国の方向性が明確に打ち出されました。また、厚生労働省では、科学的介護を含め、健診・医療・介護全体をデジタル化の上、統合し、健康の自己管理も可能となるなどの「データヘルス改革」を推進されています。
本研修会は、『和光方式』による自立支援とデータヘルス改革に関する講演・パネルディスカッションを通じて、地域福祉・介護の中核拠点として、老人福祉施設が果たすべき役割を考えることを目的に開催します。
- 2 主 催 中予地区老人福祉施設連絡協議会／愛媛県老人福祉施設協議会／フォーラム21
※本研修会は第26回「フォーラム21」との合同開催となります。
- 3 日 時 平成30年9月22日（土）13:00～15:30
- 4 会 場 ひめぎんホール「真珠の間」（松山市道後町2-5-1）
- 5 参加対象 愛媛県老施協会員施設役職員（職種不問）
- 6 定 員 300名程度
- 7 参加費 無 料
- 8 内 容 13:00～15:30（受付12:00～13:00）
①講演
講 師：和光市前保健福祉部長（現教育委員会教育部長） 東内京一氏
②パネルディスカッション
パネリスト：和光市前保健福祉部長（現教育委員会教育部長） 東内京一氏
（敬称略） 日本慢性期医療協会常任理事（愛媛県老人保健施設協議会副会長） 木戸保秀氏
愛媛県老人福祉施設協議会（ケアマネジャー、社会福祉士、介護福祉士） 藤村高弘氏
愛媛大学医学部附属病院栄養部部長 利光久美子氏
コーディネーター：衆議院議員 塩崎恭久氏
- 9 申込方法 別添申込書に必要事項をご記入の上、**9月14日（金）までに**下記事務局あてにお申し込みください。
- 10 その他 (1) 当日の受付は、一般受付ではなく、**必ず県老施協受付**でお済ませください。
(2) 会場の駐車場は有料となります。
(3) 本申込書で取得した個人情報には、取り扱いに十分注意し、研修会の参加者管理及び研修資料への掲載以外の目的では使用しません。
- 11 事務局 愛媛県老人福祉施設協議会事務局（担当：木口・井上）
愛媛県社会福祉協議会 地域福祉部 福祉研修課
〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号 県総合社会福祉会館2階
TEL 089-921-8566 / FAX 089-921-3398
Eメール jimukyoku@e-roushi.jp / URL <http://www.e-roushi.jp/>

【会場案内図】

ひめぎんホール（松山市道後町2 - 5 - 1）

●JR 松山駅から

- ・伊予鉄市内電車(道後温泉行)で約15分
南町・県民文化会館前で下車
- ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約20分

●松山市駅から

- ・伊予鉄市内電車(道後温泉行)で約10分
南町・県民文化会館前で下車
- ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約15分

※駐車場 303台（地下91台、北84台、西120台）30分ごとに100円（大型200円）

